

東京の産業と教育

会 の 目 的

本会は産業界、教育界および行政当局が一体となって相互に連絡協調し、本都における国公立の中学校、高等学校、高等専門学校、短期大学および専修学校等の産業教育の改善・進歩をはかり、もって産業経済の自立発展に寄与することを目的とする。

産業教育における商工会議所の対応

東京商工会議所

理事・産業政策第二部長 小林 治彦



商工会議所は、「商工会議所法」に基づく地域総合経済団体であり、地区内の商工業者を会員として、商工業の発展や社会一般の福祉の増進に資することを目的に活動しています。全国には、北海道から沖縄まで 515 の商工会議所があり、会員数は 125 万を数えています。東京商工会議所は、1878 年に創設され、現在、東京 23 区内を管轄し、約 7.8 万件（多くが、中小企業・個人事業主）の会員で構成されています（会員数はいずれも 2017 年 3 月末現在）。

東京商工会議所のミッションは、「会員企業の繁栄」、「首都・東京の発展」、「日本経済の発展」の 3 点であり、活動内容としては、国や東京都などへの「政策提言活動」をはじめ、企業経営の課題を解決するための「経営支援活動」、「地域振興活動」などを展開しています。

今年度は、当所の三村明夫会頭が 2 期目を迎え、「中小企業の再生による日本経済の成長力底上げを！」をスローガンに、①中小企業の絶えざる進化を全力支援、②東京と地方が共に栄える真の地方創生、③オリンピック・パラリンピックの成功の 3 つの活動を柱とする中期ビジョンを策定しました。

さて現在、日本の企業の 99.7% は中小企業であり、働く人の約 7 割が中小企業に勤めています。人口減少が進む中、多くの中小企業が、人手不足という経営課題に直面しています。

政府においても、人手不足を克服し、日本の成長率を引き上げるため、「働き方改革」や「人材投資」に本腰を入れて取り組み始めました。当所としても、この「人手不足」を単に成長の

足かせと捉えるのではなく、日本の社会の労働慣行や女性の働き方を大きく変える契機になると考え、中小企業に対する支援を強化していきたいと考えています。

具体的には、東商内に「労働委員会」、「多様な人材活躍委員会」を設置し、現場の実態を踏まえた政策提言活動を実施するとともに、会員企業の好事例の共有化などに取り組んでいます。

加えて、私どもは、教育機関と連携した若年者就労支援や産業人材の確保・育成の重要性を鑑み、「若者・産業人材育成委員会」を設置しております。本委員会では、職業教育をはじめとした学校教育の在り方について議論し、現状と課題を踏まえた東商ならではの事業を企画・運営しています。例えば、大学 1・2 年生向けに提供している「東商リレーションプログラム」は、早い段階で学生の職業観を醸成し、卒業後の進路の参考にしてもらうことを目的に運営しています。また、こういった事業を通じて得た事業者のニーズを踏まえて、政府をはじめ関係機関に対し意見要望活動を実施しています。

今後も引き続き、産業界・教育界・行政の皆様と十分連携しながら、産業教育の改善・進歩に取り組んでまいりたいと存じますので、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、当所は、2018 年に創立 140 周年を迎え、新ビルを竣工いたします。周年事業においては、中高校生などに向けて、産業教育の必要性なども訴えていくことを検討しています。皆様方のご支援・ご協力を重ねてお願い申し上げます。



〈実践報告〉

デュアルシステム科設置に伴う 開設準備活動報告

東京都立葛西工業高等学校

校長 福田 健昌

1 学校紹介

本校は、昭和37年に中堅技術者を育成する教育機関として、江戸川の地に開設し、創立55周年を迎えました。『真理を愛し、勤労をたつとび、責任を重んずる』を校訓とし、「ものづくり」と「知・徳・体」の教育を受けた11,500余名の卒業生を世に送り出し、各産業界で活躍するなど歴史と伝統を育んできた工業高校です。

日頃から生活指導部をはじめ、若手を中心とした教職員が登校時の交通マナーや服装指導、挨拶や声かけから気付けた生徒の様子を教職員間で共有し、早期発見とベテランからの助言など、連携ある対応を行っています。現在では、「学校が落ち着いている」、「やめさせない」、「面倒見が良い」等の評価もいただき、女子生徒数も年々増加傾向にあります。

さらに、地域密着校として20年を経過し、区や町会、工場会が主催する「まつり」や「産業展」に出展・運営貢献活動を実践しています。これにより、学校行事の際には地域の協力をいただくなど、良好な関係を維持・継続しています。このように、「地域の見守り」や「多くの支援」から、「他への奉仕がそのまま自身の得につながる」ことを生徒は学校生活を通して、実感できています。

2 デュアルシステム設置の背景

平成28年2月に東京都教育委員会より、「都立学校改革推進計画 新実施計画」が策定され、「地域企業の求める人材の育成につながり、産業界から評価されている『東京版デュアルシステム』を更に推進していく」ことになりました。そこで、「都立六郷工科高等学校」と同様のデュアルシステム科が本校と多摩工業高校に設置されることになりました。

3 本校デュアルシステム科の紹介

本校のデュアルシステム科は、機械系学科です。企業と学校が協力し、「モノづくり企業の未来を担う若者を育てる」ため、1学年で企業見学及びインターンシップ、2・3学年で1か月連続した（土日除く）就業体験を最大4回行うことができます。



本校OBから説明を受ける生徒

- 就業体験を通した「働く実践を行う」ことで、
- ①職種の理解を深められます。
 - ②志望する職種に対する適性の有無がわかります。
 - ③就業体験が学習の意欲につながります。
 - ④社会人として必要な振る舞いなどが自然に学べます。
 - ⑤職種に求められる専門的知識や技術が学べます。
- このように、学校では学べない「働くことを学ぶ」ことを目的とします。

4 開設準備の進捗と連携について

現在、開設に伴う準備として就業体験受入企業の開拓を実施しております。地域としては、江戸川区を中心に、葛飾区・江東区・墨田区・市川市・浦安市等になります。また企業への広報・周知にあたり、区役所、商工会議所、各地域の工場会など幅広い組織・団体からのご協力をいただいています。各中学校（区部）には、4月初旬に本科紹介リーフレットを配布しました。今後は、江戸川区をはじめとした、各中学校の説明にて広報・周知等を行い生徒・保護者・職員の興味・関心を高めたいと思います。

〈実践報告〉

専門学校における建築学科 「模型制作」の取り組みについて

東京工学院専門学校

校長 亀田 俊夫



1 はじめに

東京工学院専門学校は創立 58 年を迎え、1991 年に小金井市に移転してから 26 年となります。現在では東京工学院専門学校、東京エアトラベル・ホテル専門学校の 2 校でテクノスカレッジとして 35 学科 78 コースを擁する、日本を代表する総合型専門学校になっております。

建学以来「天職をまっとうする人材の育成」を教育指針とし、専門知識や技術・技能を学び即戦力として仕事ができるようになるのはもとより、社会が求める人間としての総合力や国際性を兼ね備えた人材の育成に努め、創造的な教育環境を築いてまいりました。2017 年 2 月には府中市にテクノスカレッジ〈東京府中グラウンド〉が竣工、2017 年 4 月からは、すべての学科で 4 年制大学卒業の資格がとれる本校独自のカリキュラムも始動しております。また、他学科とのコラボレーション実習、地域や企業と連携した教育も本校の特徴で、学校の枠を超えて実践の場で実学の専門性を深め、コミュニケーション能力や行動力を培い、学生一人ひとりの能力や個性を开花させて社会の第一線で活躍できる人材の育成に努めております。ここで過ごす時間は、その人が本当に好きなことに向き合い、新しい視座を持ち、成長していく契機になることを確信しています。そんな中で建築学科建築工学コースの取り組みをご紹介します。

2 模型製作の取り組み

建築学科建築工学コースでは実習室で毎年 1 棟ずつ歴史的建造物の軸組模型を 1/10 サイズで作り工法を学んでいます。近年の作品では法隆寺夢殿、法隆寺五重塔、伊達家の門、日光東照宮本殿、平等院鳳凰堂などが完成しています。学生たちは建築の勉強を始めたばかりで、図面の読み取り方、難解な建築用語や部材の名前、大工道具の取り扱いなどをこの授業を通して少しずつ身に付けていきます。実物を見学に行き説明を聞いたり、写真や資料を何度も読み返し、完成するころには建

物の歴史から構造的な仕組みまで理解していきます。一つの建物にじっくり取り組んで得られた達成感、この貴重な体験は建築現場で活躍している卒業生たちの励みになっているようです。



法隆寺夢殿 1/10



法隆寺五重塔 1/10

産・学・官プロジェクト実証実験進行中

東京都立農産高等学校

園芸デザイン科3年 小川 真紀子

私は、環境問題に興味があり、農業を学びたくて農産高校に入学しました。農産高校には園芸デザイン科と食品科があります。学校の周囲は住宅地で、こんな街中に畑があることに、最初はびっくりしました。私は園芸デザイン科に入学し、草花や野菜、果樹の栽培と、植物バイオテクノロジー、造園やフラワーアレンジメントについて勉強してきました。

今年4月の始業式の日、農産高校に「フラワーメリーゴーランド」が設置されました。



フラワーメリーゴーランド1号機と花がら摘みをする生徒たち

これは、太陽光で発電した電気を使って、タイマーで自動かん水する装置がついた立体花壇です。葛飾区と農産高校、地元の企業が作ったもので、花苗や栽培については地元の農家が協力しています。また、花の選定や栽培管理については千葉大学からアドバイスを受けています。農産高校の地元、葛飾区で「産・学・官」が一体となって進めているプロジェクトで、2020年の東京オリンピック・パラリンピックまでには実用化する目標を立てて、試作されたものです。

昨年度から始まったプロジェクトの2年目は実用化に向けた実証実験を行うことが、専門性を生かした農産高校の大きな役割です。

始業式の後に先生に呼ばれて初めて見た時には、「どんな仕組みなのだろう」と思いました。また、日陰になる部分は大丈夫なのかと聞いていたら、

回転させることができることを、区役所の方から聞きました。太陽電池パネルやチューブも付いており、ロボットみたい、とも思いました。写真左の試作機には76個の花の苗が入ります。これに水をあげるのは大変だと思いました。

この日の午後に取材がありました。葛飾区の広報や新聞社、ケーブルテレビの記者やカメラマン、この試作機を作ったプロジェクトチームの人たちも来ました。私は花がらを摘んでいましたが、多くの大人の人たちが希望にあふれ、楽しそうに説明していることに感銘を受けました。

5月になり、試作2号機と壁面花壇が設置されました。こちらは227苗が植えられています。部活動で調査や管理をすることになり、私も所属している造園部で担当することになりました。

毎日、気温や水温、花の様子やかん水の良否を調べています。月に1度、花苗の入れ替えをします。デザインを考え、植え替える作業はみんなと協力して行っています。



設置した壁面花壇の様子。ペチュニアを中心に花の栽培実験中

この取組みに参加して、科学的な調査の大変さと、モノを作り出すことの楽しさを学びました。

現在は、2年生が中心に活動していますが、私も東京オリンピック・パラリンピックでこのフラワーメリーゴーランドが街中に設置され、大会に華を添えられるように、学んだ事を生かしながら実証実験を進めていきたいと思っています。

新 会 員 校 の 紹 介

新たに会員校となった21校を紹介します。

- 香川調理製菓専門学校
〒170-8481 豊島区駒込3-24-3
TEL 03-3576-3404 FAX 03-3918-2291
- 窪田理容美容専門学校
〒164-8585 中野区中野4-11-1
TEL 03-3386-6789 FAX 03-3386-1723
- NHK学園高等学校
〒186-8001 国立市富士見台 2-36-2
TEL 042-573-8111 FAX 042-572-3332
- 恵泉女学園中学校
〒156-0055 世田谷区船橋 5-8-1
TEL 03-3303-2115 FAX 03-3303-9644
- 鷗友女子中学校
〒156-8551 世田谷区宮坂 1-5-30
TEL 03-3420-0136 FAX 03-3420-8782
- 東村山市立東村山第四中学校
〒189-0022 東村山市野口町3-24-1
TEL 042-391-9114 FAX 042-397-5418
- 国分寺市立第一中学校
〒185-0002 国分寺市東戸倉2-6
TEL 042-322-0641 FAX 042-328-2321
- 国分寺市立第二中学校
〒185-0011 国分寺市本多1-2-17
TEL 042-322-0642 FAX 042-328-2412
- 国分寺市立第三中学校
〒185-0036 国分寺市高木町2-11
TEL 042-572-7143 FAX 042-577-6843
- 国分寺市立第四中学校
〒185-0023 国分寺市西元町3-10-7
TEL 042-324-3811 FAX 042-328-2414
- 国分寺市立第五中学校
〒185-0005 国分寺市並木町2-15
TEL 042-325-3735 FAX 042-328-2415
- 青梅市立第一中学校
〒198-0088 青梅市裏宿町615
TEL 0428-22-7281 FAX 0428-24-2396
- 青梅市立第二中学校
〒198-0043 青梅市千ヶ瀬町2-155
TEL 0428-22-7284 FAX 0428-24-2449

- 青梅市立第三中学校
〒198-0014 青梅市大門2-301
TEL 0428-31-7286 FAX 0428-32-7074
- 青梅市立西中学校
〒198-0063 青梅市梅郷6-1460-1
TEL 0428-76-0114 FAX 0428-76-2394
- 青梅市立第六中学校
〒198-0003 青梅市小曾木4-2040
TEL 0428-74-5344 FAX 0428-74-5716
- 青梅市立第七中学校
〒198-0001 青梅市成木4-544-2
TEL 0428-74-5217 FAX 0428-74-5719
- 青梅市立霞台中学校
〒198-0031 青梅市師岡町4-6-1
TEL 0428-24-1140 FAX 0428-24-2596
- 青梅市立吹上中学校
〒198-0015 青梅市吹上1
TEL 0428-24-1880 FAX 0428-24-9598
- 青梅市立新町中学校
〒198-0024 青梅市新町5-20-1
TEL 0428-31-0411 FAX 0428-32-7079
- 青梅市立泉中学校
〒198-0024 青梅市新町1-37
TEL 0428-31-2297 FAX 0428-32-7096

会 員 校 数		平成29年7月1日現在
校 種		学校数
短 期 大 学		2
専 修 学 校		24
都 立 高 専		1
国 立 高 校		1
都 立 高 校		63
私 立 高 校		18
国 立 中 学 校		1
都立中学校・中等教育学校		10
区立中等教育学校		1
公 立 中 学 校		403
私 立 中 学 校		4
公 立 義 務 教 育 学 校		6

新 会 員 企 業 の 紹 介

城 北 礦 油 株 式 会 社

〒 114-0002 東京都北区王子 5-3-18-205
代表取締役 加藤 純一
TEL 03-3911-2166 FAX 03-3911-2166

当社は、免震構造の賃貸住宅を経営しております。写真は、平成20年に建築された賃貸住宅で、13階建、戸数56戸、1階はコンビニエンスストアとなっております。

北区内の賃貸住宅では、初めての免震構造をもった建物です。

東日本大震災時には、室内で倒れた物は一つもなく（コンビニエンスストアを含めて）、その後民間のテレビ局などが地下の免震構造を取

材に来訪しました。今も、一年に一回免震構造見学会を開催しております。



株 式 会 社 八 千 百

〒 130-0004 東京都墨田区本所 4-29-2
代表取締役 森 裕子
TEL 03-3625-8077 FAX 03-3625-8099

HACHIOH（八櫻）の役割は、創業時から取り組んでいる化学系廃棄物の無害化処理と安全管理の提供です。

大学の研究室で新技術が開発されれば、そこに新しいキケンが発生します。

工場で新商品が生産されればそこに新しい無害化のための研究開発が求められます。

この現状は日本中の各現場がキケンにさらされていると言っても過言ではありません。

今、ASEAN地域の急成長の発展の足元にはそれ以上のキケンがあるといえます。

私達の使命は地球を守る。(SAVE THE EARTH)

その使命感をもって働いている人、これからのミッションを共有して人生を築いていこうとする人たちのためにプロフェッショナルとして成長できるためのインフラ整備に取り組んでいます。



株 式 会 社 第 一 成 和 事 務 所

〒 103-8214 東京都中央区日本橋久松町 11-6 日本橋 TS ビル 8F
代表取締役 千葉 雅史
TEL 03-3669-2831 FAX 03-3667-9037

当社は損害保険代理店として、1957年に創業し、お陰さまで60周年を迎えることができました。これもひとえに皆さま方のご支援ご厚情の賜物と心より感謝しております。

1957年の創業以来、「お客さまを第一に大切に考える」を基本とし、更に時代の変化に合わせた進化をし、お客さまや社会から信頼していただける存在となれるように努力を重ねてまいります。

【主な業務内容】

◇損害保険代理業務

自動車保険、火災保険をはじめ、各種団体保険制度の取扱い

◇生命保険代理業務

終身保険、定期保険、医療保険など個人・法人向け商品の取扱い

「インターンシップ・ボランティア等体験活動保険」 随時受付中！

平成29年度 総会・講演会 報告

総 会

平成29年度総会及び講演会を6月22日(木)全商会館において開催いたしました。

来賓に公益財団法人産業教育振興中央会専務理事の富岡逸郎様、東京都公立高等学校長協会副会長の高石公一様、東京都中学校長会長の岩永章様をお迎えしました。

開会にあたり、西澤会長から「職業教育や産業界を取り巻く現状に、しっかりした問題意識をもって、都産振もその一翼を担う動く組織でありたい。」という趣旨の挨拶があり、続いて以下のように議事を進めました。

報告事項(1) 平成29年度 会長、副会長の選任について

会 長 西澤 宏繁

(日本リスク・データバンク株式会社顧問)

(前・株式会社企業再生支援機構 代表取締役社長)

副会長 金子 昌男

(株式会社カナック企画 相談役)

副会長 小林 治彦

(東京商工会議所理事・産業政策第二部長)

副会長 佐々木 哲

(東京都立六郷工科高等学校長)

報告事項(2) 平成29年度 教育庁内の東京都産業教育振興会役員について

理 事 長 中井 敬三

(東京都教育委員会教育長)

常任理事 初宿 和夫

(東京都教育庁都立学校教育部長)

常任理事 星 政典

(東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課長)

常任幹事 甲賀 一紀

(東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課課長代理)

第1号議案 平成28年度 事業報告(案)

第2号議案 平成28年度 決算書(案)

第3号議案 平成28年度 監査報告

第4号議案 平成29年度 東京都産業教育振興会役員(案)

第5号議案 平成29年度 事業計画(案)

第6号議案 平成29年度 予算書(案)

審議の結果いずれも原案が承認されました。

平成29年度事業計画の概要は次の通りです。

1 振興奨励事業

(1) 産業教育功労者の表彰

(2) 産業教育研究団体に対する奨励助成

(3) 作文コンクールの実施

(4) 優良卒業生の表彰

(5) 後援名義の使用承認

(6) 産業界会員(永年会員)の表彰

2 産学交流事業

年2回、10月と11月に開催予定

3 情報連絡事業

(1) 会報「東京の産業と教育」の発行

(2) 会誌「東京の産業教育」の発行

(3) 作文コンクール入選作品集「明日に生きる」の発行

(4) 本会のホームページの更新

(5) 全国産業教育フェア(秋田大会)及び全国産業教育振興大会等への参加

(6) 公益財団法人産業教育振興中央会及び各道府県産業教育振興会との情報交換・連絡調整

4 会員増加運動の推進



講演 会

総会終了後、引き続き講演会が開催されました。出席者数は50名で、首都大学東京学長補佐(アドミッション・センター長兼務)川上 浩良氏を講師として、「イノベーションの先に待つ社会、教育」という演題で行われました。

講演内容については、3月上旬発行予定の会誌「東京の産業教育」第55号にて紹介いたします。



平成 29 年度「作文コンクール」作品募集のご案内

本会主催「作文コンクール」です。今年度から東京商工会議所の後援をいただけることになりました。

会員の中学校、高等学校、専修学校、高等専門学校及び短期大学等に在籍する生徒・学生を対象に、産業教育に関する作文の募集を通して、専門教科の学習や勤労への興味・関心や意欲を喚起し、将来の職業人の育成を図り、東京の産業教育の振興と発展に資することを目的とした事業です。入選作品は、「明日に生きる」という冊子として発行します。

応募締切 9月13日(水)

各校の締切日は別に設定していますので、ご確認ください。

表彰式 12月14日(木)
全商会館にて開催します。



昨年度「作文コンクール」表彰式

全国産業教育フェア 秋田大会のお知らせ

- 1 期日 平成 29 年 10 月 21 日(土)・22 日(日)
- 2 会場 秋田県民会館、秋田県立体育館、秋田県立武道館、秋田県生涯学習センター 他
- 3 内容 (1) 総合開会式、総合閉会式、(2) 作品展示、(3) 体験実演コーナー、(4) 展示販売、(5) 作品・研究発表会、(6) 意見・体験発表、(7) スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール事業発表会、(8) 参加交流イベント、(9) 競技大会等、(10) 企業・大学・専門学校等の展示 等
- 4 大会ホームページ <http://www.akita-c.ed.jp/sanfair2017>

第 18 回全国中学生創造ものづくり教育フェア

- 1 期日 平成 30 年 1 月 20 日(土)・21 日(日)
- 2 会場 葛飾区水元総合スポーツセンター、女子栄養大学
- 3 内容 (1) 生徒作品コンクール、(2) 木工チャレンジコンテスト、(3) 創造アイデアロボットコンテスト、(4) パソコン入力コンクール、(5) 「あなたのおべんとう」コンクール、(6) 「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール 等
- 4 大会ホームページ <http://www.ajgika.ne.jp> (全国中学校技術・家庭科研究会ホームページ内)

東京都産業教育振興会 ホームページアドレス

<http://www.tosanshin.org/>

事務局より

- 平成 29 年度「会報」第 152 号をお届けいたします。会報の編集、発行に際してご協力いただきました皆様に深く感謝申し上げますとともに、厚く御礼申し上げます。
- 東京都の産業教育をさらに飛躍させるために、情報等をお知らせしています。会員の皆様からのご感想、ご意見などをお寄せください。
- 会員の募集は随時行っております。

発行 東京都産業教育振興会
〒163-8001 東京都新宿区西新宿 2-8-1
東京都教育庁都立学校教育部
高等学校教育課内
電話 03-5320-6729
FAX 03-5388-1727
印刷 昭和印刷株式会社

再生紙を使用しています
印刷用の紙にリサイクルできます